

平成 18 年 4 月 28 日

各 位

東京都文京区白山五丁目 1 番 3 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(大証ヘラクレス：4316)

問合せ先：常務取締役社長室長 上野 圭一

(電話 03-5842-5033)

特別利益・特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、平成 18 年 4 月 28 日開催の当社取締役会において、特別利益並びに特別損失の発生を決議いたしましたので、その概要をお知らせするとともに、昨今の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生及びその内容

当社は、平成 16 年 4 月 28 日開催の取締役会において子会社である株式会社アクセリスコミュニケーションズジャパンの解散を決議し、その損失見込額を子会社整理損失引当金に計上しておりましたが、この度、上記引当金額の一部 141 百万円について戻入を行うことが確定いたしましたので、特別利益として計上することといたしました。

2. 特別損失の発生及びその内容

当社では、財務諸表の健全化をはかることにより、財務基盤及び収益力の強化を目指しております。その対策の一環として、固定資産の減損に係る会計基準に基づき、固定資産の評価を行った結果、459 百万円を特別損失として計上することといたしました。その内訳は以下のとおりであります。

- (1) 投資有価証券につき、時価のあるものについては平成 18 年 3 月 31 日の証券取引市場における終値を、時価のないものについては財政状態等をそれぞれ勘案し、395 百万円を評価損（特別損失）として計上することといたしました。
- (2) 上記のほか、当社の各事業において取得した固定資産を、それぞれの事業における収益性を加味して検討を行った結果、64 百万円を特別損失として計上することといたしました。

3. 平成 18 年 3 月期業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,190	28	16
今回修正予想 (B)	724	123	437
増減額 (B - A)	466	151	453
増減率 (%)	39.1	-	-

当社は、平成 18 年 3 月期より連結決算を開示しております。

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,100	43	32
今回修正予想 (B)	661	100	427
増減額 (B - A)	439	143	459
増減率 (%)	39.9	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	894	5	0

(3) 修正理由

モバイル事業分野のうち、交通関連事業につきましては当初計画通り推移いたしましたが、無線 LAN 事業につきましては当初計画を下回り、また、位置情報関連事業につきましては大型商談が新年度にずれ込むなど進捗が遅れ、更に、通勤テレビを始めとする新規事業の立ち上げが遅れたことにより、同事業分野においては売上高が計画値より連結で 325 百万円の不足となりました。

ソリューション事業分野のうち、モニタリング倶楽部、モバイル・Web 開発、その他の新規事業につきましては、当初計画を下回り、同事業分野においては売上高が計画値より連結で 141 百万円の不足となりました。

また、前頁記載のものを含め、連結で特別利益 155 百万円、特別損失 467 百万円を計上することとなりました。

以上の結果、当期の売上高は、連結で 724 百万円、個別で 661 百万円、経常損失は、連結で 123 百万円、個別で 100 百万円となる見込みであります。また、当期純損失は、連結で 437 百万円、個別で 427 百万円を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。現在、決算の取り纏めならびに監査法人による監査を行っているところであり、実際の業績は上記予想数値とは異なる可能性があります。

(注) 平成 18 年 3 月期の業績発表は平成 18 年 5 月 15 日を予定しております。

以 上